TEACH－IN

湾岸戦争とメディア

冷戦後の新世界秩序が探られる中で引き起こされた湾岸戦争。マス・メディアは、最先端技術を用いた兵器の優秀さを宣伝し、「クリーンな戦争」のイメージを作りだすと同時に、アメリカの軍事力の強大さと報道管制の見事さを見せつけた。国連決議があったとはいえ、アメリカ軍を中心とした多国籍軍の軍事的手段による戦争の解決は、果たして中東の安定化に貢献したのだろうか。日本政府が決定した90億ドルにのぼる追加援助と自衛隊機の派遣はどうだろうか。

マス・メディアを通しては見えなかった湾岸戦争を明らかにし、自由な市民としての今後の対応を考えていきたい。

出席者：バカル・アブデル・モネム（パレスチナ駐日代表）

モハメッド・タバン・アウィド（イラク美術家）

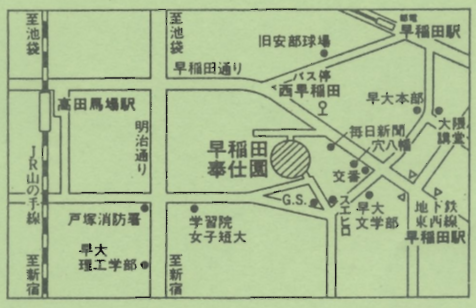
粉川哲夫（メディア批評家）〈予定〉

日時：3月23日（土）午後1時30分～5時

会場：早稲田奉仕園　奉仕園会館小ホール

新宿区西早稲田2-3-1 TEL.03-3205-5411

地下鉄東西線早稲田下車5分



参加費：1000円

問い合わせ：『砂漠のウサギ小屋作戦』事務局　福田雅人　TEL.03-3460-9598

主催：自由国際大学／ラジオ・ホームラン／

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ美術家会議